

7. 調査結果

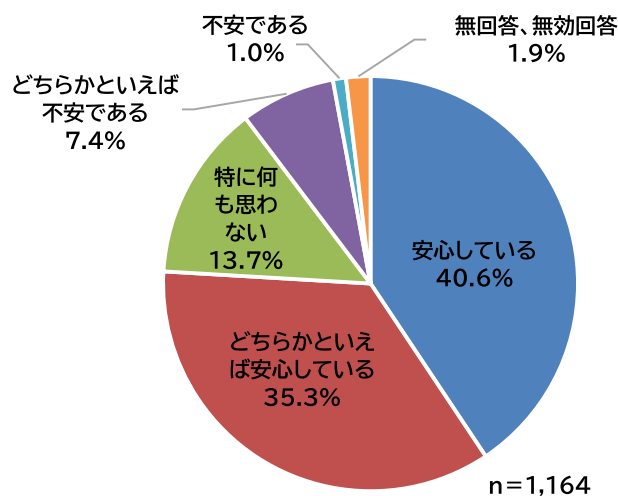
(1) 周南市の水道水について

問1 水道水の安全性について、どのように感じていますか？(○は1つだけ)

【単純集計】

項 目	人数	割合
1. 安心している	473 人	40.6%
2. どちらかといえば安心している	411 人	35.3%
3. 特に何も思わない	160 人	13.7%
4. どちらかといえば不安である	86 人	7.4%
5. 不安である	12 人	1.0%
無回答、無効回答	22 人	1.9%
計	1,164 人	99.9%

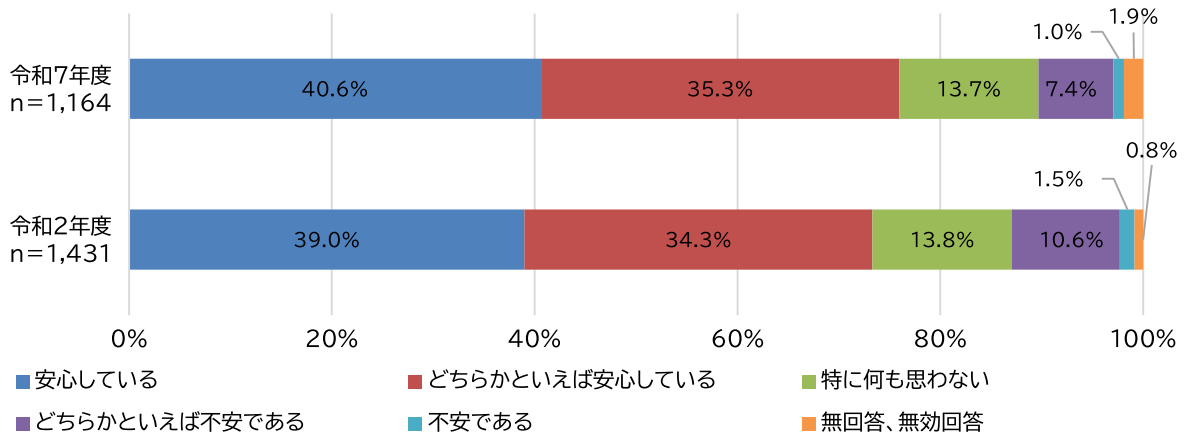
※ 以下文中において、1. 及び 2.の回答項目をあわせたものを「安心」、4. 及び 5.の回答をあわせたものを「不安」と表記します。



「安心している」の回答が 40.6% で最も多くなっています。
「安心している」、「どちらかといえば安心している」をあわせた割合は、全体の 75.9% を占めており、水道水の安全性について多くの方が安心だと感じています。

【経年比較】

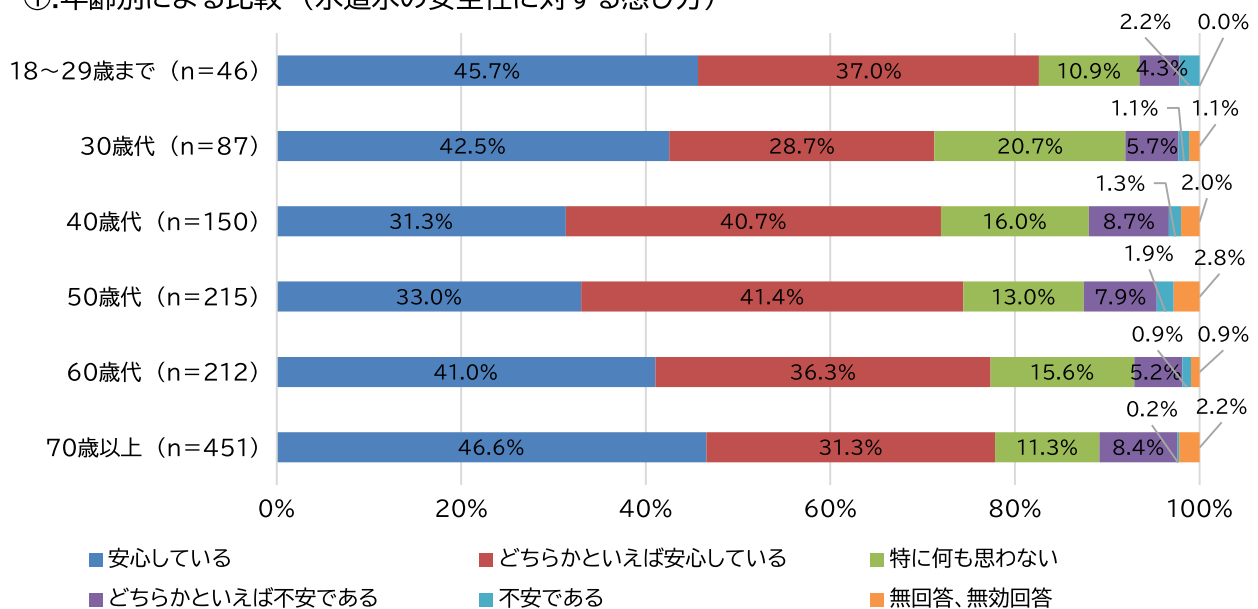
(水道水の安全性に対する感じ方の経年比較)



前回の調査と比較して、「安心している」、「どちらかといえば安心している」をあわせた割合が若干増えており、「どちらかといえば不安である」、「不安である」をあわせた割合は減少しています。

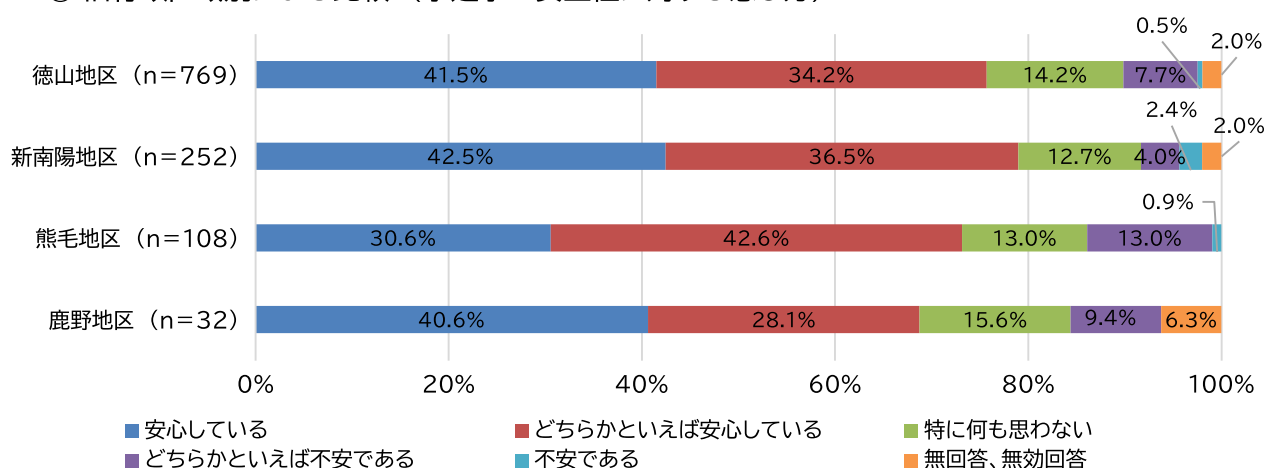
【属性別集計】

①.年齢別による比較（水道水の安全性に対する感じ方）



年齢別による比較では、いずれの年齢層においても「安心」と感じている方の割合が過半数を占めています。前回の調査では、年齢層が上がるほど「安心」だと感じている方の割合が多くなる傾向がみられましたが、今回の調査では18～29歳までと30歳代で「安心」だと感じている割合が大きく伸びており、18～29歳までの世代が82.7%と最も多くなっています。

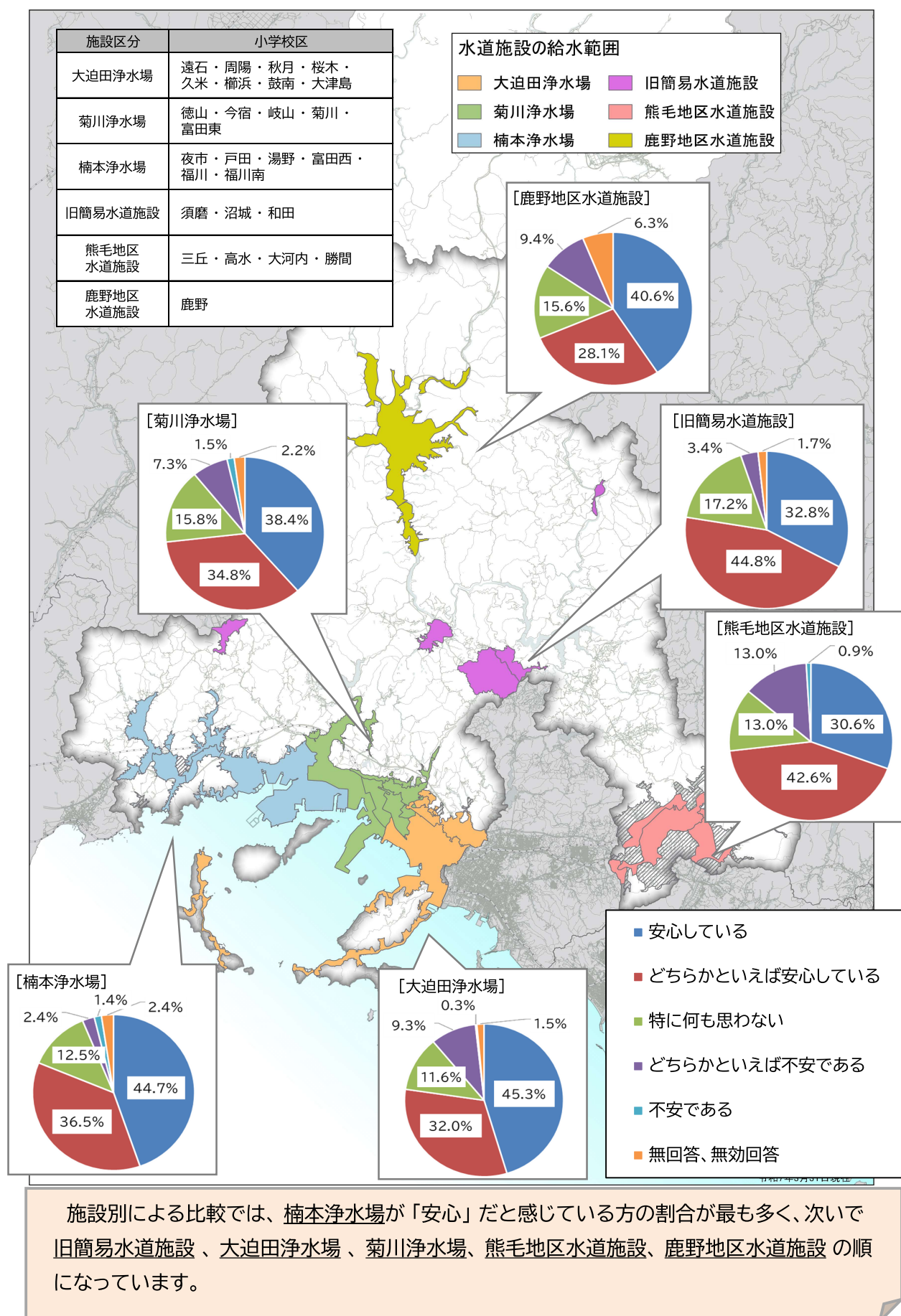
②.旧行政区域別による比較（水道水の安全性に対する感じ方）



旧行政区域別による比較では、「安心」だと感じている方の割合について、前回の調査では 鹿野地区 が最も多かったが、今回の調査では 新南陽地区 が最も多く、次いで 徳山地区、熊毛地区、鹿野地区 の順になっています。

また、「不安」だと感じている方の割合について、最も多かったのは、熊毛地区 となっていますが、全体の割合は減少しています。

【施設別集計（水道水の安全性に対する感じ方）】

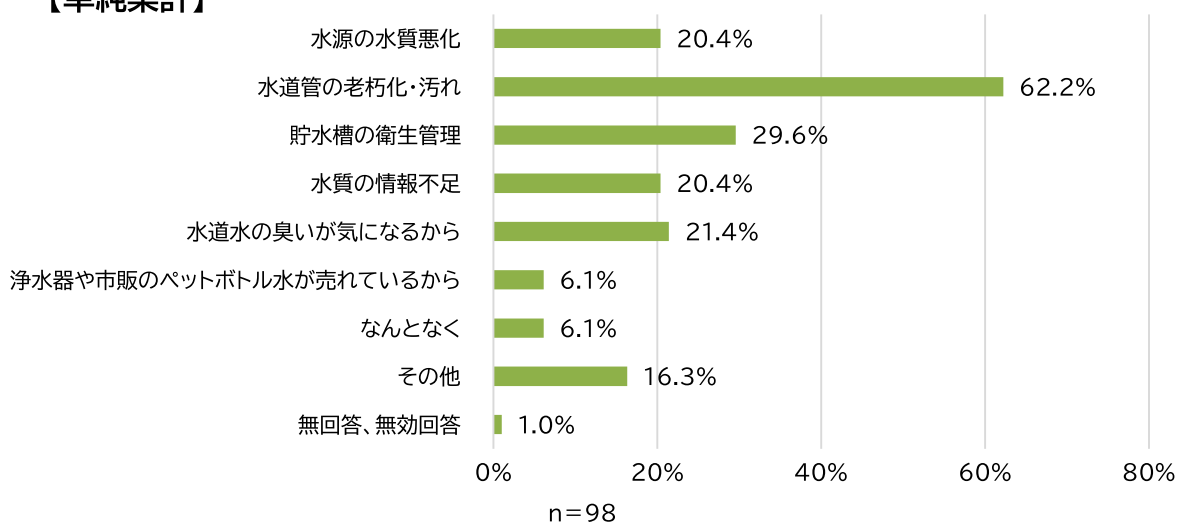


問2 問1で「4」、「5」とお答えになった方におたずねします。
不安を感じる理由は何ですか？(○はいくつでも)

(回答の対象者)

1.安心している (473人)			
2.どちらかといえば安心している (411人)			
3.特に何も思わない (160人)			
4.どちらかといえば不安である (86人)	➡	回答対象	問1で「4」、「5」と回答された98人 (8.4%)の方が対象
5.不安である (12人)			
無回答、無効回答 (22人)			

【単純集計】



問2の問いに対し、「水道管の老朽化・汚れ」の割合が 62.2% で最も多く、次いで「貯水槽の衛生管理」が 29.6%、「水道水の臭いが気になるから」が 21.4% の順になっています。

【経年比較】

(水道水の安全性に不安を感じる理由の経年比較)

項目	前回 (令和2年度)	今回 (令和7年度)
1.水源の水質悪化	23.7%	20.4%
2.水道管の老朽化・汚れ	60.7%	62.2%
3.貯水槽の衛生管理	25.4%	29.6%
4.水質の情報不足	34.7%	20.4%
5.水道水の臭いが気になるから	28.3%	21.4%
6.浄水器や市販のペットボトル水が売れているから	12.1%	6.1%
7.なんとなく	6.4%	6.1%
8.その他	7.5%	16.3%
無回答、無効回答	0.6%	1.0%

※回答割合の多かった上位3つを赤色で表記

水道水に「不安」を感じる理由として、「水道管の老朽化・汚れ」、「水道水の臭い」は、前回の調査から変わらず上位の理由として選ばれています。

「貯水槽の衛生管理」が前回の調査から4.2%増加しています。

「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 安全性が気になる。
- PFASが混じっていないか気になる。
- お風呂場の蛇口から出る水の臭いが気になる。
- カルキ入れすぎ？というくらい味も臭いもする。
- 生ぐさい臭いがするから浄水器を取り付けて使用している。

など 17件の回答がありました。

周南市上下水道局のPFASへの対応について

PFASとは…

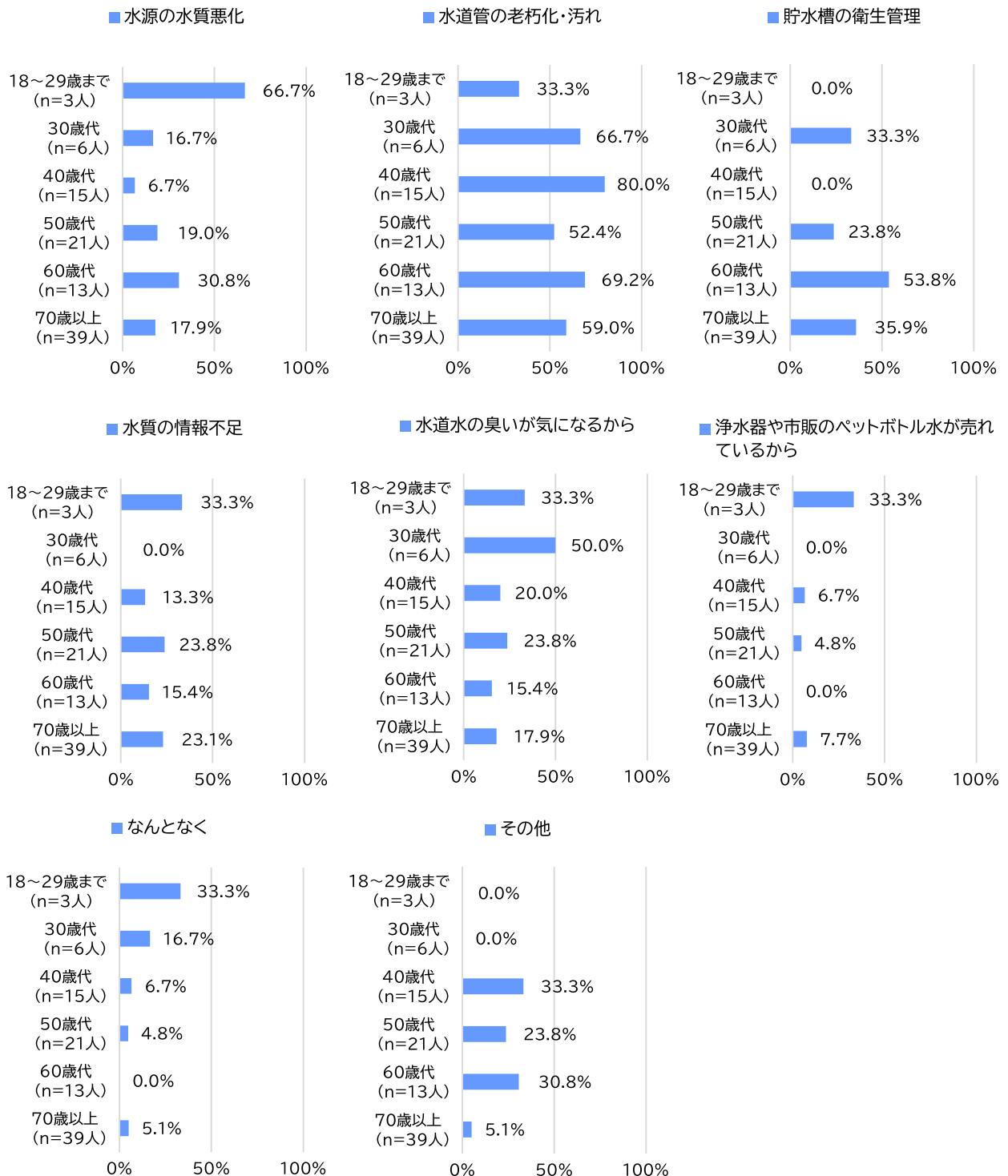
有機フッ素化合物のうち、ペルフルオルアルキル化合物及びポリフルオルアルキル化合物の総称です。

周南市では、これまで国が定めた暫定目標値(50ng/L)を超過したことはありません。

水質検査地点ごとの詳細なデータは、上下水道局ホームページで公表しています。

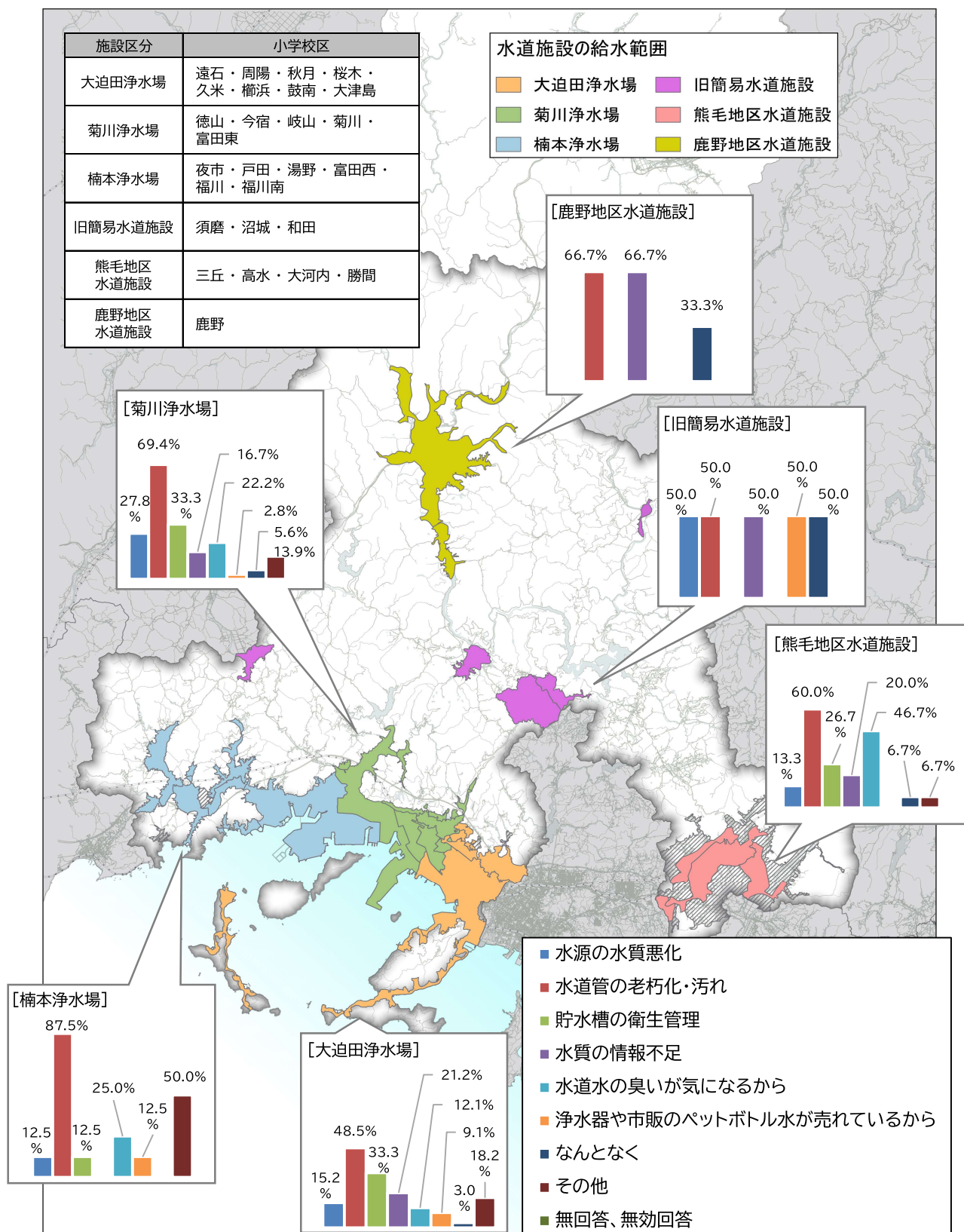
【属性別集計】

①.年齢別による比較（水道水の安全性に不安を感じる理由）



年齢別による比較では、18～29歳までを除く全ての年齢層で「水道管の老朽化・汚れ」を最も多く選択されています。

【施設別集計（水道水の安全性に不安を感じる理由）】

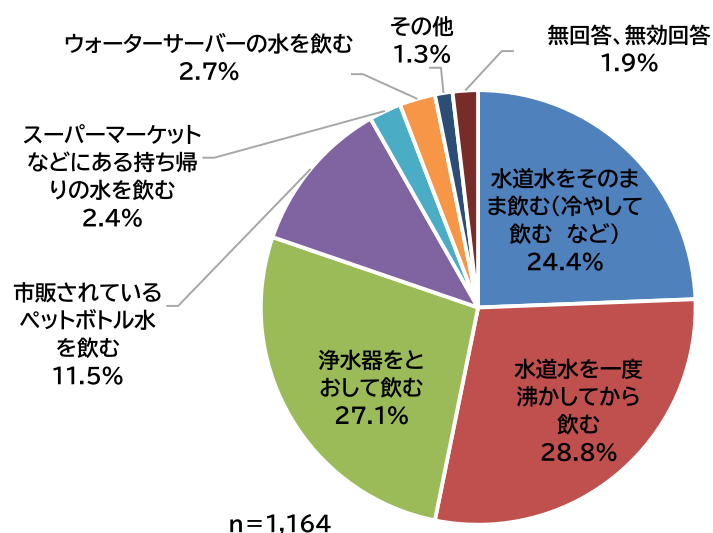


施設別による比較では、全ての施設で「水道管の老朽化・汚れ」が多く選ばれており、特に 楠本浄水場、菊川浄水場において、「不安」に感じられている方の割合が多くなっています。

問3 あなたは、飲料水をどうしていますか？(○は1つだけ)

【単純集計】

項 目	人数	割合
1. 水道水をそのまま飲む(冷やして飲む など)	284 人	24.4%
2. 水道水を一度沸かしてから飲む(さ湯、お茶、コーヒー等を含む)	335 人	28.8%
3. 浄水器をとおして飲む	315 人	27.1%
4. 市販されているペットボトル水を飲む	134 人	11.5%
5. スーパーマーケットなどにある持ち帰りの水を飲む	28 人	2.4%
6. ウォーターサーバーの水を飲む	31 人	2.7%
7. その他	15 人	1.3%
無回答、無効回答	22 人	1.9%
計	1,164 人	100.1%



「水道水を一度沸かしてから飲む(さ湯、お茶、コーヒー等を含む)」の割合が 28.8% で最も多くなっています。

全体の約75%の方は、水道水をそのまま飲まない傾向がみられます。

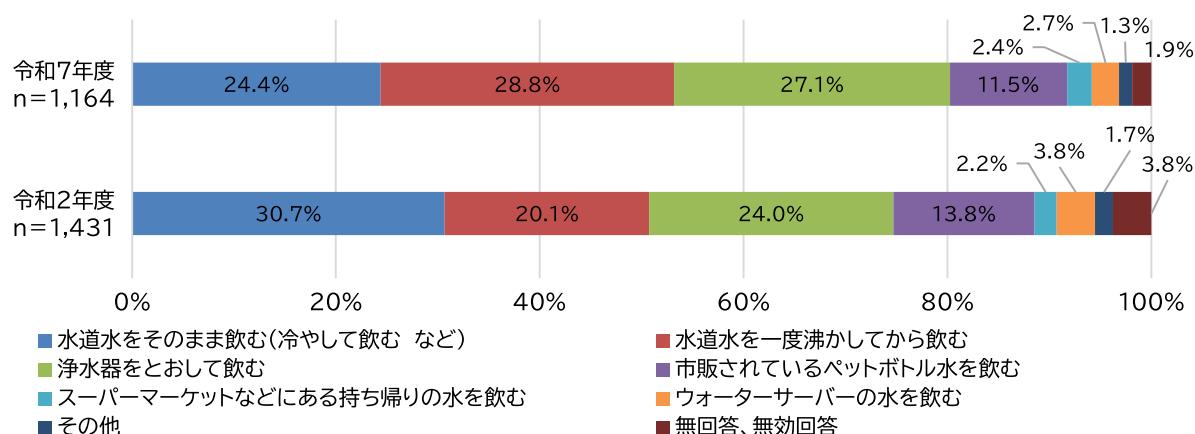
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 水源にくみに行く。
- 神社の地下水、酒造会社の伏流水等
- 井戸水を沸かして飲む。
- 一度沸して冷やして飲む。

など 14件の回答がありました。

【経年比較】

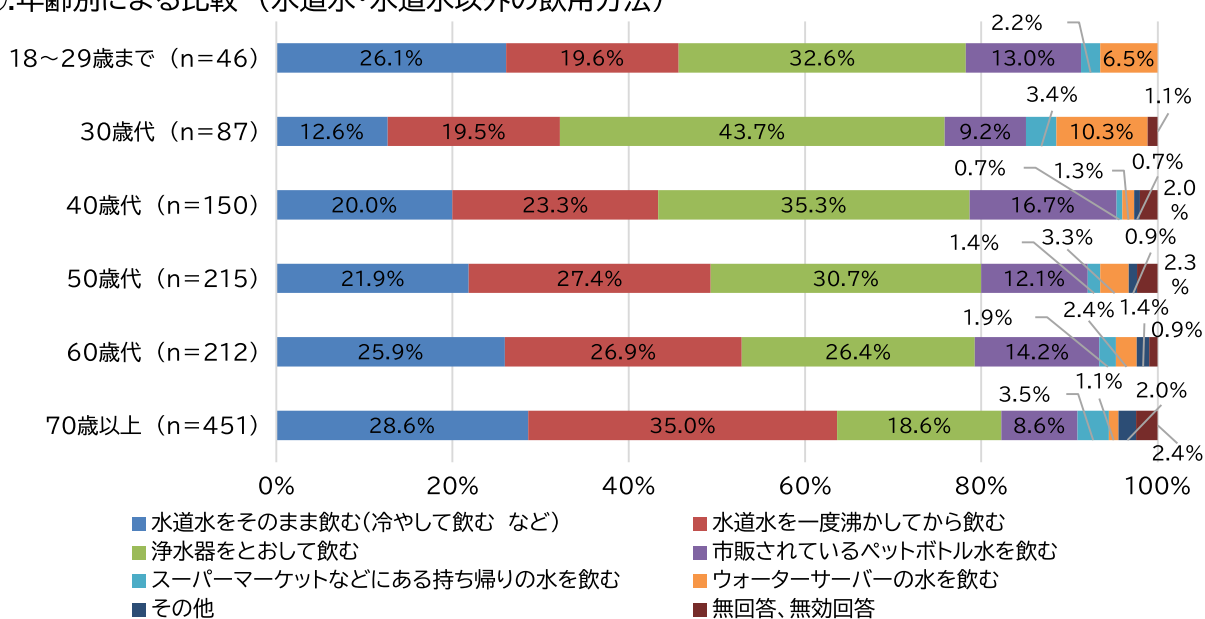
(水道水・水道水以外の飲用方法の経年比較)



前回の調査と比較して、「水道水をそのまま飲む」の割合が減少し、「水道水を一度沸かしてから飲む」、「浄水器をとおして飲む」の割合が増加しています。

【属性別集計】

①.年齢別による比較 (水道水・水道水以外の飲用方法)

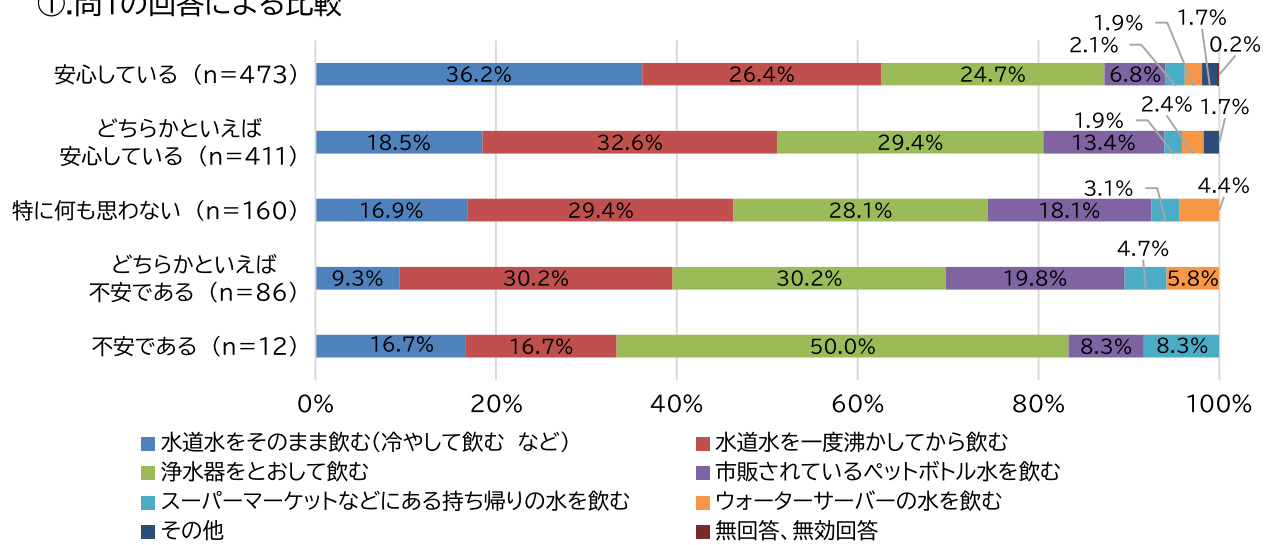


年齢別による比較では、30歳代が「水道水をそのまま飲む(冷やして飲む など)」の割合が最も少なく、「浄水器をとおして飲む」の割合が最も多い結果となりました。

前回の調査と概ね同様の傾向となっていますが、18～29歳までの世代で「水道水を一度沸かしてから飲む」、「浄水器をとおして飲む」の割合が増加しています。

【その他の集計】

①.問1の回答による比較

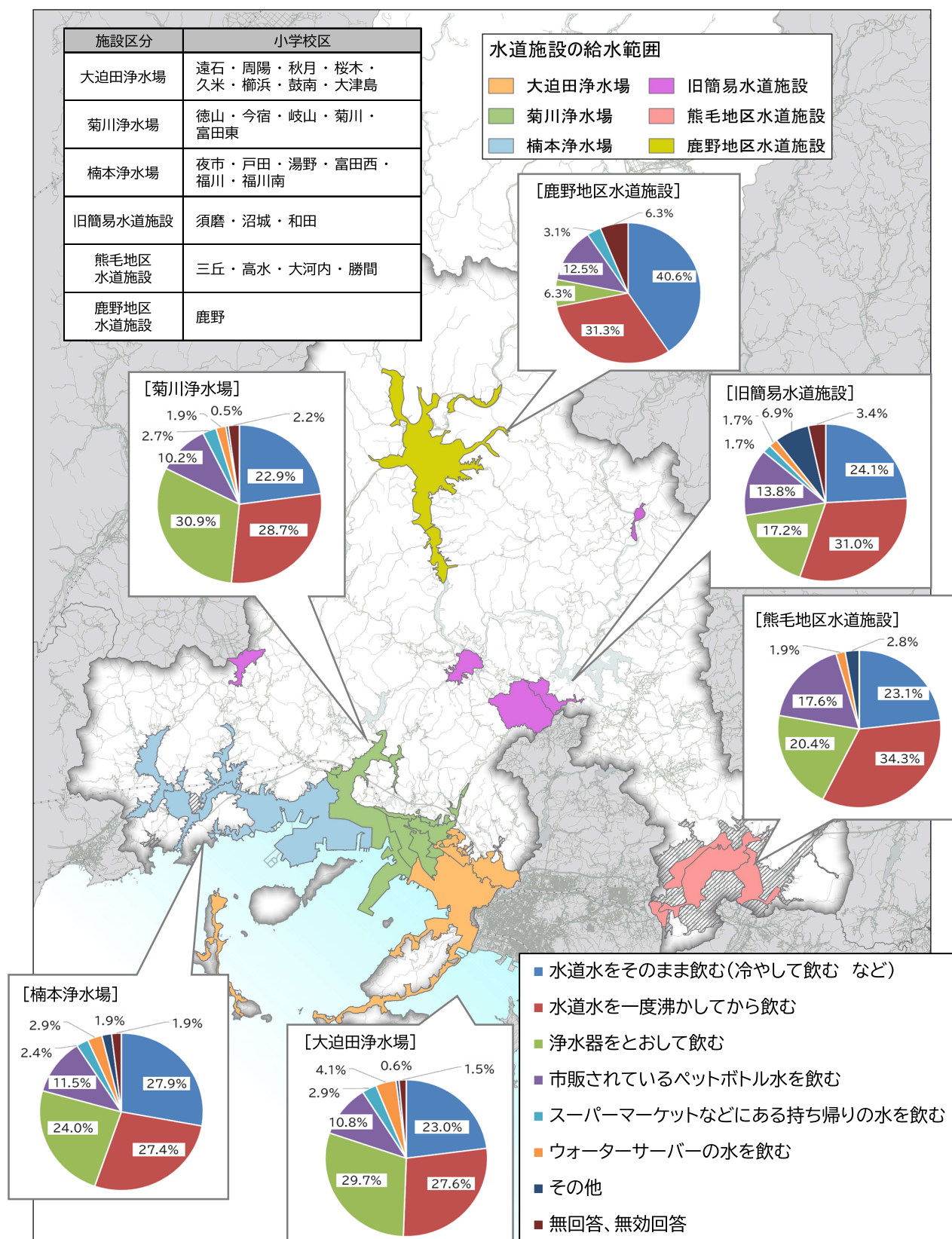


水道水に対する安心感が高まるほど、「水道水をそのまま飲む(冷やして飲む など)」を選択される割合が多くなる傾向がみられます。

一方で、水道水の安全性に対して不安が高まるほど、「水道水を一度沸かしてから飲む」、「浄水器を通した水を飲む」などの加工した水、水道水以外の水を飲む割合が多くなっています。

※前回の調査と同様の傾向となっています。

【施設別集計（水道水・水道水以外の飲用方法）】



施設別による比較では、「水道水をそのまま飲む(冷やして飲む など)」を選択する割合が最も多かったのは **鹿野地区水道施設** の 40.6% で、最も少なかったのは **菊川浄水場** の 22.9% となっています。

問4 問3で「2」～「7」に○をつけた方におたずねします。
水道水をそのまま飲まない、または飲まない理由は何ですか？(○はいくつでも)

(回答の対象者)

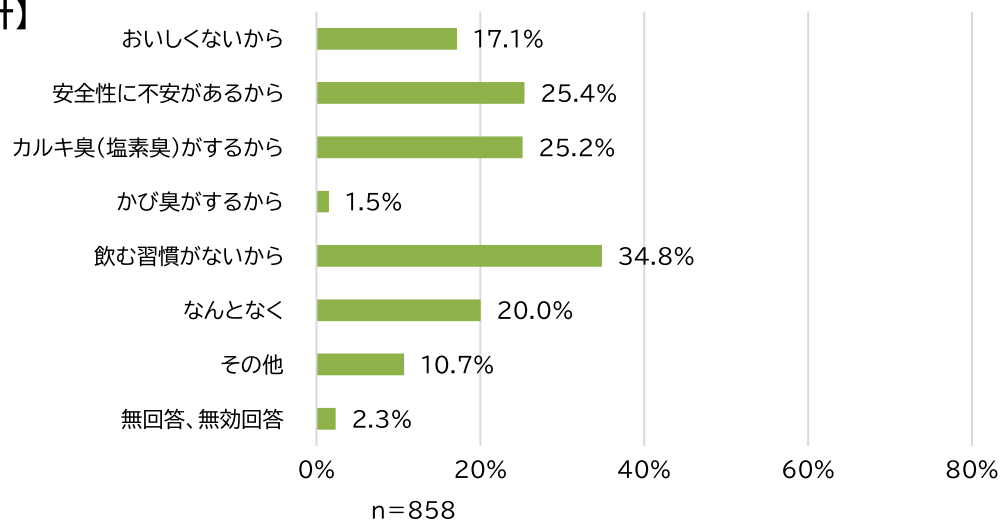
1.水道水をそのまま飲む(冷やして飲む など)	(284人)			
2.水道水を一度沸かしてから飲む(さ湯、お茶、コーヒー等を含む)	(335人)			
3.浄水器をととして飲む	(315人)			
4.市販されているペットボトル水を飲む	(134人)			
5.スーパーマーケットなどにある持ち帰りの水を飲む	(28人)			
6.ウォーターサーバーの水を飲む	(31人)			
7.その他	(15人)			
無回答、無効回答	(22人)			

→

回答対象

問3で「2」～「7」と回答された858人(73.7%)の方が対象

【単純集計】



問4の問いに対し、「飲む習慣がないから」の割合が 34.8% で最も多く、次いで「安全性に不安があるから」が 25.4%となっており、前回の調査で32.1%と最も多かった「カルキ臭(塩素臭)がするから」は 25.2% となりました。

【経年比較】

(水道水をそのまま飲まない理由の経年比較)

項目	前回 (令和2年度)	今回 (令和7年度)
1.おいしくないから	15.6%	17.1%
2.安全性に不安があるから	22.7%	25.4%
3.カルキ臭(塩素臭)がするから	32.1%	25.2%
4.かび臭がするから	3.7%	1.5%
5.飲む習慣がないから	28.6%	34.8%
6.なんとなく	22.1%	20.0%
7.その他	8.0%	10.7%
無回答、無効回答	3.3%	2.3%

※回答割合の多かった上位3つを赤色で表記

水道水をそのまま飲まない方の理由は、前回の調査から変わらず、「安全性に不安があるから」、「カルキ臭(塩素臭)がするから」、「飲む習慣がないから」が上位の理由として選ばれています。

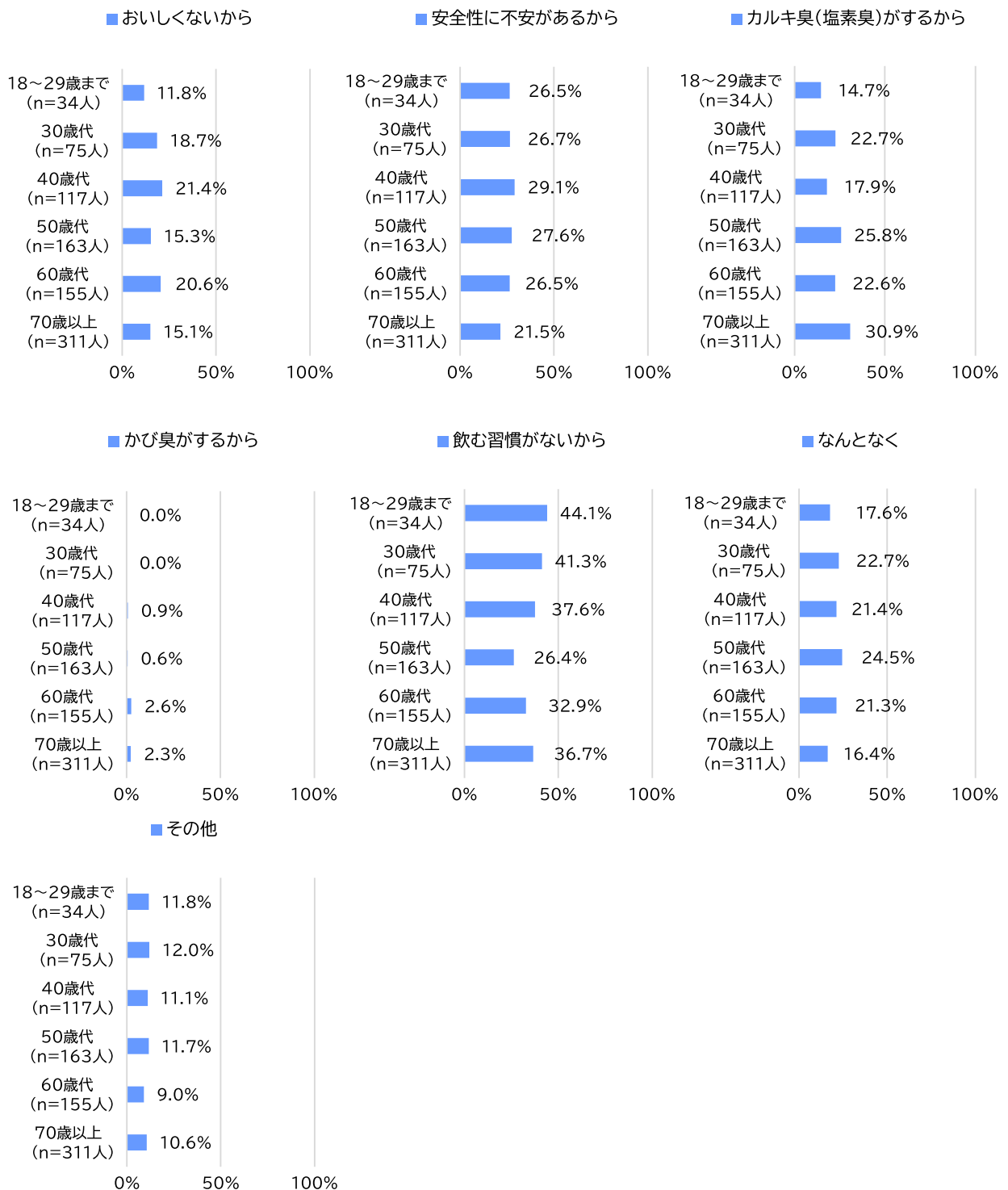
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- お茶にして飲みたいから。
- あたたかいものが飲みたいから。
- 購入したペットボトルの茶が飲みやすい。
- 一度沸かして冷やして飲むとおいしい。
- 昔からそうしていたから。
- 浄水器付きの蛇口だから。
- 塩素の量が気になるから。
- 自宅の配管がさびているため。
- 水道管の使用年数が気になるため。
- むるいから。

など 91件の回答がありました。

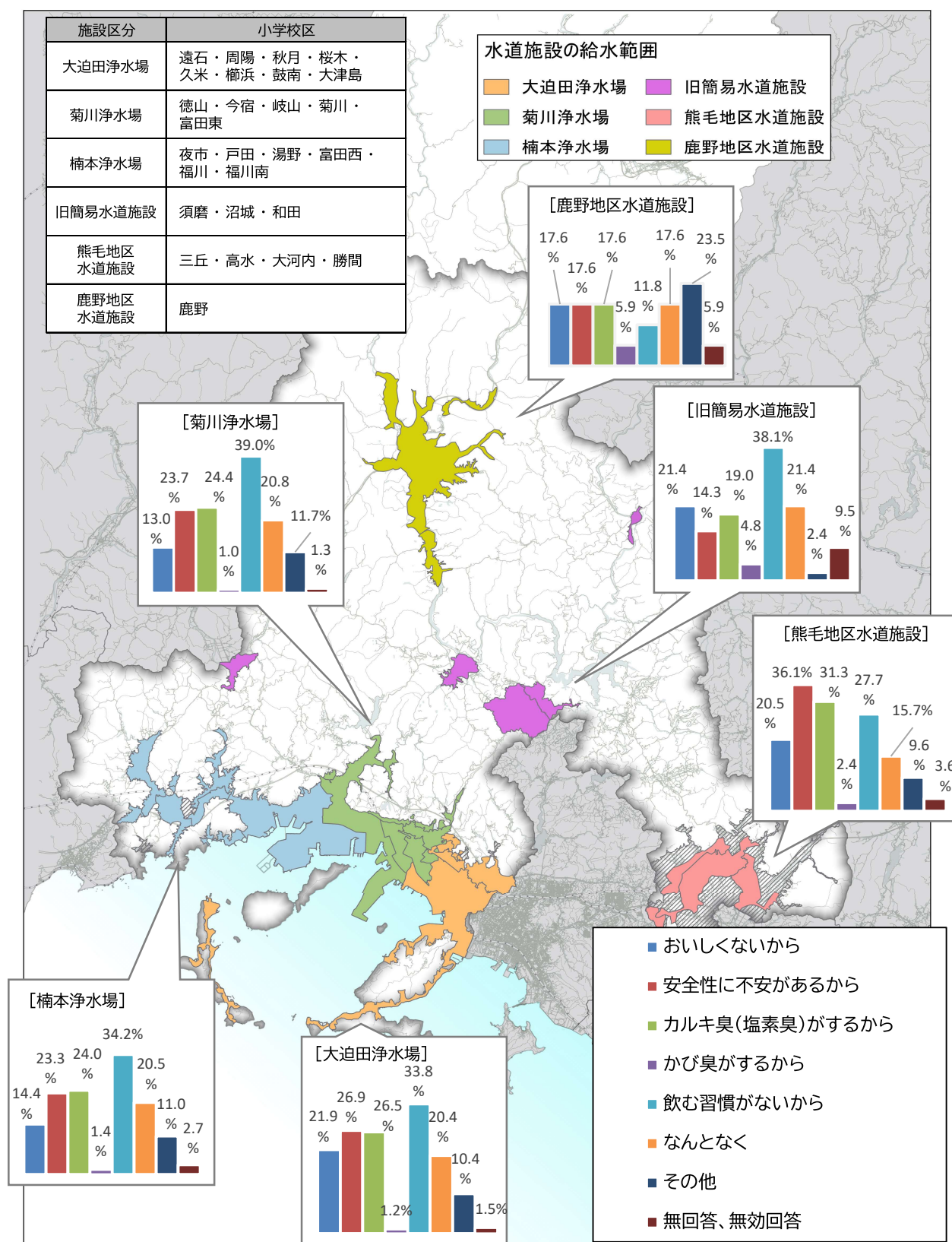
【属性別集計】

①.年齢別による比較（水道水をそのまま飲まない理由）



年齢別による比較では、いずれの年齢層においても「安全性に不安があるから」、「カルキ臭(塩素臭)がするから」、「飲む習慣がないから」の選択率は高くなっています。

【施設別集計（水道水をそのまま飲まない理由）】

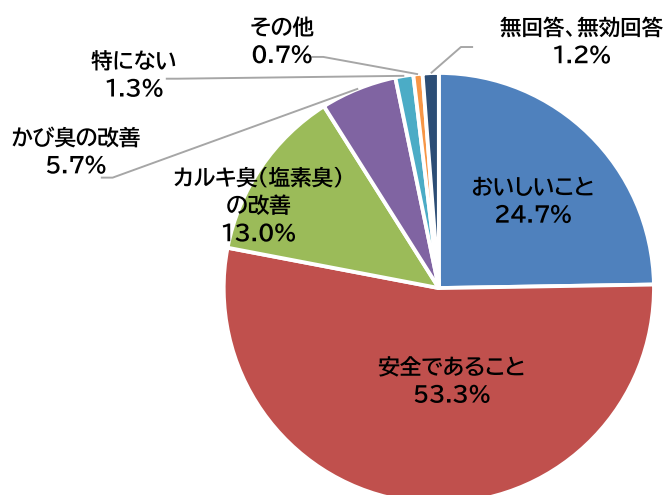


施設別による比較では、「安全性に不安があるから」は 熊毛地区水道施設 で 36.1% と最も多くなっています。また、「カルキ臭(塩素臭)がするから」は 熊毛地区水道施設 で 31.3%、「飲む習慣がないから」は 菊川浄水場 で 39.0% となっています。

問5 あなたは、水道水の水質について、どんなことを望みますか？(〇はいくつでも)

【単純集計】

項 目	人数	割合
1. おいしいこと	496 人	24.7%
2. 安全であること	1,069 人	53.3%
3. カルキ臭(塩素臭)の改善	261 人	13.0%
4. かび臭の改善	115 人	5.7%
5. 特にない	27 人	1.3%
6. その他	14 人	0.7%
無回答、無効回答	24 人	1.2%
計	2,006 人	99.9%



水道水の水質について、「安全であること」を望む意見が 53.3% で最も多くなっており、過半数の方が「安全性」を望んでいます。

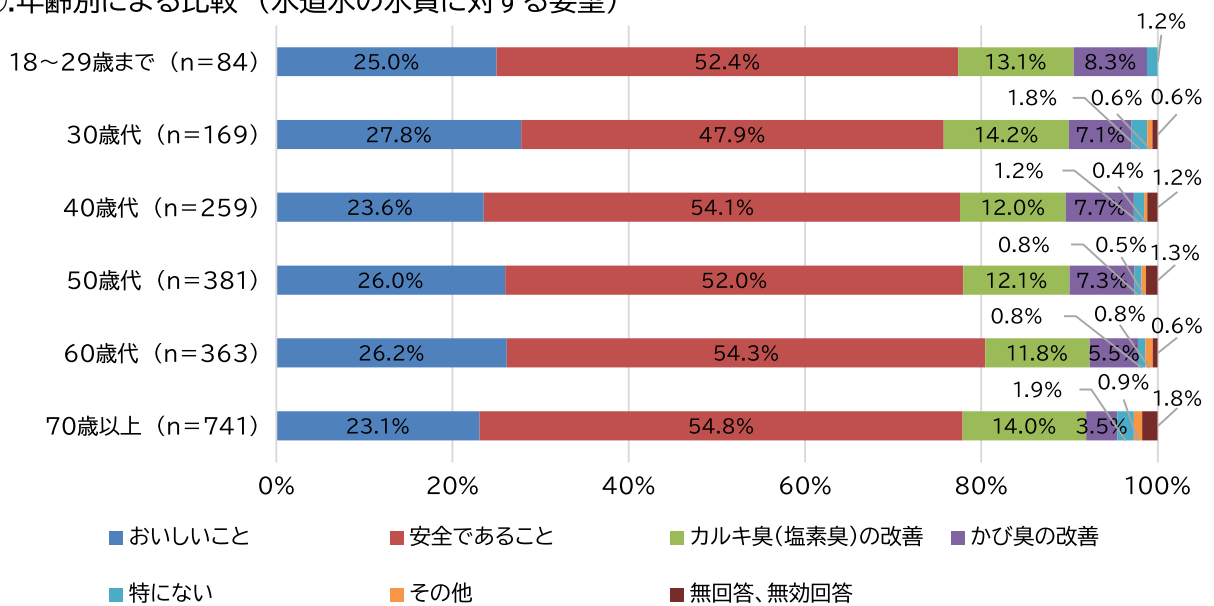
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- PFASの安全性などの情報
- 夏はぬるいから普通の温度であってほしい。
- 無味で透明なこと。臭いがないこと。
- 水道管が古いことでサビなどが混じらないこと。
- 絶対に民営化しないでほしい。

など 14件の回答がありました。

【属性別集計】

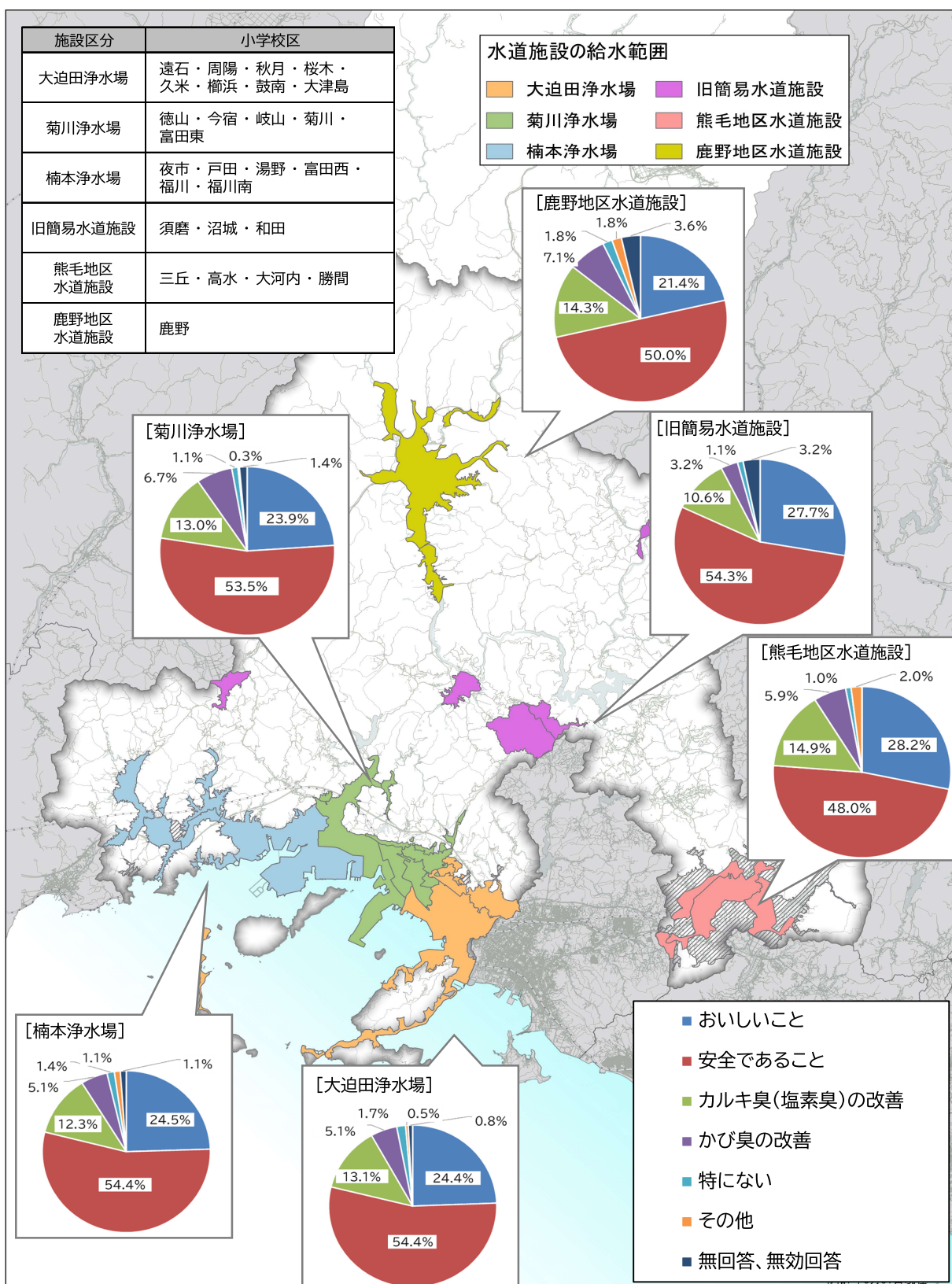
①.年齢別による比較（水道水の水質に対する要望）



年齢別による比較では、いずれの年齢層においても「安全であること」の割合が最も多くなっています。

※前回の調査と同様の傾向となっています。

【施設別集計（水道水の水質に対する要望）】



施設別による比較では、「安全であること」を選択する割合が最も多かったのは、大迫田浄水場、楠本浄水場の 54.4% で、最も少なかったのは、熊毛地区水道施設の 48.0% となっています。